田川市立病院 VOL.23 秋号/2018

ニュースレター

― 基本理念 ―

市民のため　市民とともに　全職員力を合わせ
田川の医療を守る　　質の高い　市立病院を　創造します
“地方の医療創生は田川から”

第二の危機と特別事業計画

田川市病院事業管理者　齋藤　貴生

田川市立病院では、平成20～21年度の経営危機に伴い、22年度から病院事業管理者のもとで改革が進められ、患者数も右肩上がりに増加して平成 28 年度には病院再生の成就を宣言しました。ところが、他方では、田川医療圏在住の二次医療を必要とする患者の飯塚医療圏の一医療機関への流出が、平成24～25年度頃から急激に増加し、そのため28年度頃から田川医療圏内の田川市立病院や他の医療機関でも患者数が減少し、29年度には経営が悪化しました。この事態を、「第二の危機」と呼称しています。

当院では、詳細な調査の後、「第二の危機」に対して「特別事業計画」を作成しました。平成29年度は第二期中期事業計画の最終年度に当たりますが、この計画では対応できない外部環境の変化が起こったからです。

表1　特別事業計画

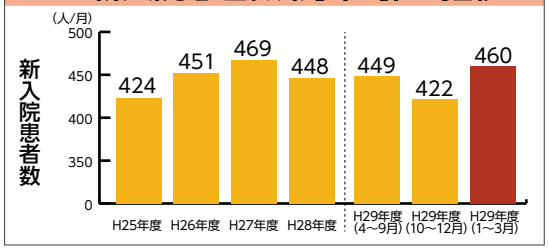
1.医療政策の遵守
(1)国の医療政策の周知と遵守
2.田川医療圏における医療の完結化
(1)田川地域における地域完結型医療の推進
(2)田川地域における病院機能の充実
(3)田川地域における医療連携の推進
3.田川市立病院における患者数増加と費用抑制
(1)田川地域における患者流出の抑制
(2)患者増加のための対策
(3)健全経営の維持（収益に見合った費用の適正化）
4.田川市立病院における
ホリスティック・マーケティングの導入
(1)ホリスティック・マーケティングの体制整備と活動
(2)広報活動の拡充

「特別事業計画」は、四つの基本方針から成ります（表 1）。第 1 の医療政策の遵守では、国の医療政策に沿い、二次医療圏での二次医療の完結を求めます。第 2 の田川医療圏における医療の完結化では、医療ニーズの調査、求められる医療の創造と提供を行います。第 3 の田川市立病院における患者数増加と費用抑制では、アンケート調査、医師等による医療機関訪問、経費節減運動、職員数の適正化等を行います。第 4 のホリスティック・マーケティングとは、人々のニーズやウォンツを把握し、それらを満たす価値を創造し提供することを、組織全体で取り組むことを言います。そのために、医療マーケティング部門の設置、広報活動の拡充を行います。

「特別事業計画」は、平成29年12月に作成され、平成30年 1 月から実施しました。幸い 1 月から 3 月までの 3 か月間の実施結果では、患者数、稼働額、医業収支比率の改善が認められました（図 1）。

「特別事業計画」は「第二の危機」に効果を発揮しつつあるようです。今後とも全職員が団結し、「第二の危機」の克服、そして、田川市立病院の新たな発展を目指さねばなりません。

図1　新入院患者数（月平均）の推移



医療安全管理室 ～医療安全の向上を目指して～

医療安全管理室　室長　丸山　晴司／専従医療安全管理者　安部　眞弓

医療安全管理室は、当院が提供する医療の安全性を確保することを目的に活動しています。患者さんが安心して医療を受けられるように努めています。

医療事故を未然に防止し、ミスを発生させないように、事故に至らない軽微な“ヒヤリ”、“ハッ”としたことも積極的に報告し合い、発生原因の分析、再発防止策の検討・評価を行い事故防止に努めています。そして、全部署での KYT（危険予知トレーニング）や５Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃・躾）活動、職員への教育や研修などを行っています。

患者さんの高齢化に伴い、病院内で発生する医療事故は転倒・転落が多いと報告されています。当院では転倒・転落防止ポイントや当院理学療法士のすすめる転倒防止訓練などについてオリジナル DVD を作成しました。入院患者さん全員にご視聴いただき、入院中の転倒・転落の防止に努めています。

医療安全管理室のメンバーは、院内の巡回、入院患者さんの病室の環境確認やご意見を伺い安全確保に努めています。

ご質問やご相談などありましたら、遠慮なくお声をおかけください。

感染防止対策室 ～感染対策の向上を目指して～

感染防止対策室　室長　尾上　泰弘／感染管理認定看護師（ICN）　植田　裕美子

感染防止対策室は①院内感染の予防、②感染症の適正な治療の２つを主な目的として活動しています。

院内感染とは入院した後にMRSAなどの耐性菌やインフルエンザ、ノロウイルスなどに感染することです。もともとの病気以外の感染症にかかることはでるだけゼロに近づける必要があります。病院職員が適切な予防処置を行えるようマニュアルに基づいた手順の確認、定期的な研修会を行っています。

感染症の治療は適切な抗菌薬の選択が重要になります。細菌検査をもとに有効性の高い薬剤を選択し、薬剤耐性（AMR）菌が出現しないよう使用期間の調整などを専門の薬剤師、医師（ICD）、看護師（ICN）と毎日カンファレンスを行っています。

平成30年度からは地域の医療機関と連携し「院内感染予防に関する合同カンファレンス」を開催し田川地域を含めた感染対策の推進にも取り組んでいます。

田川市立病院 外科のがん医療の特徴

外科　部長
丸山　晴司

田川市立病院の外科部長を務めております丸山です。外科は常勤 4 人体制でがん治療から良性疾患の手術まで幅広い診療を行っています。田川市立病院では基本理念とともに当院の役割を具体的に掲げています。その第一に「がんに対する高度･専門医療の提供」があります。がんの中でも、 胃がん､大腸がん､肝がん､肺がん､乳がんはいまだ罹患率が高く、死亡者数も多い病気で、外科で診療する代表的ながんの種類です。そこで、がん医療に関する当科の田川地域での役割についてご紹介します。

当科のがん医療の特徴はベテラン外科医が診療を行っていることです。日本外科学会や日本消化器外科学会の専門医、指導医をはじめ、がんの手術に習熟した高度技能専門医、内視鏡手術の技術認定医、がん治療認定医といった資格を取得している外科医が主に診療を担当しています。

そのため福岡市などの都会から離れた田川地域に居住されていても、がんに対する高度で専門的な手術療法や抗がん剤治療などのがん医療を当科においても都市部と同じように行われています。緩和ケア医療では通院や入院療養に加えて地域医療室からの訪問看護や在宅での看取りも行っています。

当科では一人ひとりの患者さんに最適な治療を行うために消化器内科や放射線科など各科と連携し､定期的に開催している術前カンファレンスやキャンサーボードなどの協議や検討会を通じて関係部署と協力したがん医療に取り組んでいます。当科を受診されるみなさんに安心していただける質の高いがん医療をお届けしています。

田川地域にお住まいのみなさんにとって通院の便利が良い治療生活を実現しています。患者さんや患者さんをサポートするご家族のみなさんにとって病を治し(やまい)癒すために通院･入院･お見舞いのしやすい病院の外科として当科が少しでもお役に立てればと考えています。がんの診療､治療に関することなどお気軽にご相談ください。

地域医療連携

地域の医療機関のご紹介

こうざきクリニック

住 田川市大字伊田5005-5　☎ 0947-49-1152

[院　長]　神崎　真一 先生
[診療科]　内科、消化器内科

平成２年から平成11年まで田川市立病院で勤務していました。平成11年11月父の医院を継承し開業しました。
患者様の心に寄り添える医療を心がけています。
また、消化器疾患に限らず総合的医療を念頭に良質な医療を提供することを心がけています。
より高い医療を要する場合には、より良い選択肢をお知らせすることも私たちの使命と考えています。

内視鏡検査（予約制）
胃カメラは8:00～9:00、大腸内視鏡は13:00～14:00

ホームページ　http://www.kozaki-clinic.or.jp

[診療時間]

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
[午前] 9:00～12:30	●	●	●	●	●	／	土曜休診
[午後] 14:00～18:00	●	●	●	●	●	／	

医療法人　吉峯医院

住 田川市新町24-24　☎ 0947-44-0481

[院　長]　吉峯　晃一 先生
[診療科]　耳鼻咽喉科

吉峯医院は昭和33年より後藤寺商店街、日の出町を経て、昭和46年に現在の新町で耳鼻咽喉科の診療をしています。平成７年に福岡大学を退職して父の後を継ぎました。鼻疾患、咽頭疾患、耳疾患などを総合的に診療しています。
最近は特に、スギ、ハウスダストのアレルゲンの重症患者さんには舌下免疫療法を施行しています。アレルゲン免疫療法は減感作療法とも呼ばれ、アレルギーの原因である抗原を少量から投与することで体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を和らげる治療をしています。
また、末梢性めまいの中で最も多い疾患が良性発作性頭位性めまいと言われています。卵形嚢から剥がれ落ちた耳石が半規管の中を移動することにより起こるめまいです。良性発作性頭位性めまいに赤外線CCDカメラを使用し、その中で、方向交代制の眼振には耳石置換法を施行して耳石をもとの位置に戻しています。
日常的な診療の中で、多忙のために対話が不足しています。電子カルテの画面と向き合って視線が釘付けになっているのを感じます。もっと対話を豊富にして地域医療をして参ります。

[診療時間]

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
[午前] 8:30～12:00	●	●	●	●	●	●	水曜は12:00まで 土曜は13:00まで
[午後] 13:00～17:30	●	●	／	●	●	／	

〒825-8567 福岡県田川市大字糒1700番地2 ／ ホームページアドレス http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp/
TEL 0947-44-2100 ／ FAX 0947-45-0715 ／ 企画・発行 田川市 病院局

■田川市立病院 外来診療担当医

■外来診療受付時間 8:30～11:00　■休診日 日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

平成30年11月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土
循環器内科	新患	北野 哲司(産業医科大学)	塚原 慧太(産業医科大学)	瀬戸山 航史(産業医科大学)	浅田 哲史(非常勤)	井上 航之祐(産業医科大学)	新患のみ 総合診療科医師(非常勤) 鴻江 俊治 もしくは 河村 康司 または 内科当番医
	再来		松島 将士(九州大学)	船越 公太(九州大学) 瀬戸山 航史(産業医科大学)	細川 和也(九州大学) 渡邉 泰生(産業医科大学)	―	
消化器内科	新患	山﨑 一朋	平塚 裕晃(福岡大学筑紫病院)	田中 利幸	―	小野 貴大	
	再来	―	田中 利幸	小野 貴大	山﨑 一朋	―	
腎臓内科	新患	大仲 正太郎	―	吉田 健	辻川 浩明(九州大学)	末永 達也	
	再来	末永 達也	大仲 正太郎	―	―	吉田 健	
糖尿病内分泌内科	新患	―	―	―	南 陽平	―	
	再来	池田 陽介(九州大学)	井上 智彰(九州大学)	妊娠糖尿病外来 南 陽平(第1-3) 井林 雄太(九州大学) 名誉院長 池田 喜彦(第4のみ)	―	南 陽平	糖尿病外来(第1・3・5)予約のみ 藤井 雅一(九州大学)
脳血管内科	新患 再来	―	―	芝原 友也(九州大学)	―	―	
呼吸器内科	新患(要予約) 再来	―	田中 謙太郎(九州大学)	―	―	―	
肝臓内科	新患 再来	肝臓 稲田 浩気(九州大学)	肝臓 徳松 誠(九州大学) 胆膵 伊原 諒(福岡大学筑紫病院)	―	―	―	
神経内科	新患(要予約) 再来	―	―	田中 栄蔵(九州大学)	―	―	
内科	新患 再来	―	―	―	―	中園 和利(産業医科大学)	
小児科	新患 再来	尾上 泰弘	倉田 浩昭	今井 崇史	倉田 浩昭	尾上 泰弘	当番医
	再来	循環器外来(第4午後) 濱本 邦洋(非常勤)	―	血液・免疫・ワクチン外来(第1午後) 大賀 正一(九州大学) 血液・免疫・ワクチン外来(第2～5午後) 落合 正行(九州大学)	―	神経外来(第1午後) 非常勤医師(九州大学)	神経外来(第3午前) 非常勤医師(九州大学)
外科	新患	松隈 哲人	丸山 晴司	丸山 晴司	松隈 哲人	伊勢田 憲史	当番医
	再来	吉田 大輔		伊勢田 憲史	吉田 大輔 血管外科外来(第2・4) 非常勤医師(九州大学)	松隈 哲人	休診
呼吸器外科	新患 再来	―	非常勤医師(九州大学)	―	―	―	休診
整形外科	新患 再来	久枝 啓史 新井 貴之 遠矢 政和(九州大学)	久枝 啓史 石橋 正二郎 中村 良	石橋 正二郎 新井 貴之	久枝 啓史 新井 貴之 北出 一季(九州大学)	久枝 啓史 石橋 正二郎 中村 良	当番医
	再来	―	名誉副院長 張 瑞棠	―	名誉副院長 張 瑞棠	名誉副院長 張 瑞棠	―
形成外科	新患 再来	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏	休診
皮膚科	新患 再来	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子	休診
泌尿器科	新患	石田 浩三	石田 浩三	足立 知大郎	足立 知大郎	足立 知大郎	当番医
	再来		足立 知大郎	石田 浩三		石田 浩三	
産婦人科	産科(妊婦検診)	―	藤田 拓司	安武 伸子	椎名 隆次	結城 光太郎	休診
	婦人科 新患	結城 光太郎	安武 伸子	椎名 隆次	藤田 拓司 結城 光太郎	安武 伸子	
	婦人科 再来	藤田 拓司	椎名 隆次	結城 光太郎	安武 伸子	藤田 拓司	
眼科	新患 再来	永戸 天	永戸 天 塩瀬 聡美(九州大学)	永戸 天 海津 嘉弘(九州大学)	永戸 天	永戸 天	休診
耳鼻咽喉科	新患 再来	非常勤医師(福岡大学)	(午後) 非常勤医師(産業医科大学)	―	非常勤医師(福岡大学)	―	非常勤医師(産業医科大学)
総合診療科	新患 再来	坂中 博昭(福岡大学)	―	―	―	―	―
麻酔科	新患(要予約)	―	―	―	―	―	―
	再来	疼痛 小山 稔(非常勤)	―	―	―	―	
歯科・歯科口腔外科	新患 再来	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	当番医

新患 新しく受診される患者さん　再来 当院を受診され、予約をしている患者さん

小児科夜間診療時間(受付時間):平日の18:00～21:30
耳鼻咽喉科 午後受付時間:火曜日の13:30～15:30

ACCESS

JR+平成筑豊鉄道

JR田川後藤寺駅→JR田川伊田駅
平成筑豊鉄道田川伊田駅
→田川市立病院駅
※田川市立病院駅からは無料の連絡バスが出ています。

西鉄バス

後藤寺(金田平原団地行き)
→田川市立病院

田川市コミュニティバス

[路線①]坂谷・田川病院線 ※後藤寺②へ乗り換え
[路線②]大浦・弓削田線
[路線③]伊加利・松原線
[路線④]鎮西・金川線
[路線⑤]施設循環線 ※伊田駅前で③または④へ乗り換え
[路線⑥]白鳥工業団地線 ※伊田駅前で③または④へ乗り換え